

10年間の財務データ

(単位：百万円)

IFRS	FY2015	FY2016	FY2017	FY2018	FY2019
年度：					
売上高	1,149,427	1,091,195	1,114,784	1,114,308	1,100,039
売上原価	△757,135	△704,177	△720,118	△719,299	△696,166
売上総利益	392,291	387,018	394,666	395,008	403,873
販売費・研究開発費および一般管理費	△295,315	△292,701	△302,959	△301,253	△302,191
事業利益*1	98,144	96,852	95,672	93,237	99,236
営業利益	99,678	83,617	78,706	53,642	48,773
税引前当期利益	98,778	86,684	80,819	54,698	48,795
親会社の所有者に帰属する当期利益	71,292	53,065	60,124	29,698	18,837
設備投資	58,459	89,677	79,417	79,632	83,666
減価償却費および償却費	50,852	46,273	51,783	52,485	61,460
年度末：					
資産合計	1,273,893	1,350,105	1,426,230	1,393,869	1,353,616
親会社の所有者に帰属する持分	609,486	616,315	640,833	610,543	538,975
有利子負債(Net)	64,089	149,980	156,337	183,297	272,031
1株当たり(円)*2：					
当期利益	60.62	46.41	52.88	26.81	17.19
親会社所有者帰属持分	524.48	541.45	564.22	556.97	491.60
年間配当金	14.0	15.0	16.0	16.0	16.0
流動性の指標：					
ネットD／Eレシオ*3	0.19	0.31	0.32	0.36	0.57
インタレストカバレッジレシオ(倍)	58.8	44.0	43.3	38.1	32.6
投資の指標：					
株価収益率(倍)	20.9	23.7	18.0	33.0	58.5
株価親会社所有者帰属持分倍率(倍)	2.4	2.0	1.7	1.6	2.0
収益性の指標：					
総資産事業利益率(ROA)(%) *4	7.8	7.4	6.9	6.6	7.2
親会社所有者帰属持分 当期利益率(ROE)(%) *5	11.3	8.7	9.6	4.7	3.3
資本利益率(ROIC)(%) *6	—	—	—	3.8	3.0
EBITDAマージン(%) *7	—	—	—	—	—
効率性の指標：					
総資本回転率(回) *8	0.91	0.83	0.80	0.80	0.80

*1 IFRS導入時に、経営管理のため独自に定義した利益指標(売上高－売上原価－販売費・研究開発費および一般管理費＋持分法による損益)

*2 2025年3月31日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。

表示されている会計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、過年度の数字を算定しています。

*3 ネットD／Eレシオ＝有利子負債÷親会社所有者帰属持分(有利子負債は「有利子負債－現金および現金同等物×75%」で計算)

*4 総資産事業利益率(ROA)＝事業利益÷期中平均資産合計

*5 親会社所有者帰属持分当期利益率(ROE)＝親会社の所有者に帰属する当期利益÷期中平均親会社所有者帰属持分

*6 投下資本利益率(ROIC)＝(事業年度の税引後営業利益)÷[{(事業年度の投下資本)＋(前事業年度の投下資本)}÷2]

(投下資本＝親会社の所有者に帰属する株主資本＋有利子負債)

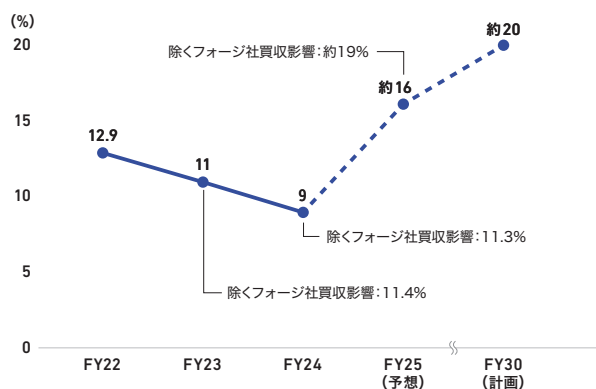
*7 EBITDAマージン＝(事業利益＋減価償却費および償却費)÷売上高 *8 総資本回転率(回)＝売上高÷期中平均資産合計

(単位：百万円)

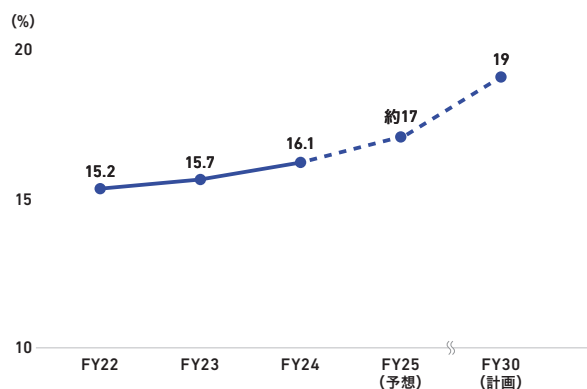
IFRS	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023	FY2024
年度：					
売上高	1,071,453	1,149,370	1,359,115	1,439,231	1,530,556
売上原価	△665,234	△723,472	△888,727	△927,783	△979,792
売上総利益	406,219	425,897	470,387	511,448	550,764
販売費・研究開発費および一般管理費	△294,399	△305,966	△339,372	△368,496	△397,775
事業利益	113,136	120,915	135,341	147,681	159,302
営業利益	101,121	124,572	148,928	146,682	113,968
税引前当期利益	98,320	122,472	140,033	142,043	108,330
親会社の所有者に帰属する当期利益	59,416	75,725	94,065	87,121	70,272
設備投資	91,834	74,102	69,850	76,947	96,439
減価償却費および償却費	63,045	66,234	71,820	78,298	86,461
年度末：					
資産合計	1,431,289	1,457,060	1,511,734	1,768,371	1,721,131
親会社の所有者に帰属する持分	620,257	686,909	768,676	815,074	746,804
有利子負債(Net)	225,213	212,508	203,722	320,141	331,286
1株当たり(円)：					
当期利益	54.18	69.71	87.99	83.72	69.77
親会社所有者帰属持分	565.41	640.25	726.12	795.09	751.01
年間配当金	21.0	26.0	34.0	37.0	40.0
流動性の指標：					
ネットD/Eレシオ	0.44	0.36	0.31	0.45	0.50
インタレストカバレッジレシオ(倍)	49.2	45.0	31.4	34.8	29.5
投資の指標：					
株価収益率(倍)	20.9	24.9	26.2	33.8	42.4
株価親会社所有者帰属持分倍率(倍)	2.0	2.7	3.2	3.6	3.9
収益性の指標：					
総資産事業利益率(ROA)(%)	8.1	8.4	9.1	9.0	9.1
親会社所有者帰属持分 当期利益率(ROE)(%)	10.3	11.6	12.9	11.0	9.0
資本利益率(ROIC)(%)	6.9	7.9	9.9	8.7	6.7
EBITDAマージン(%)	-	-	15.2	15.7	16.1
効率性の指標：					
総資本回転率(回)	0.77	0.80	0.92	0.88	0.88

パフォーマンスデータ

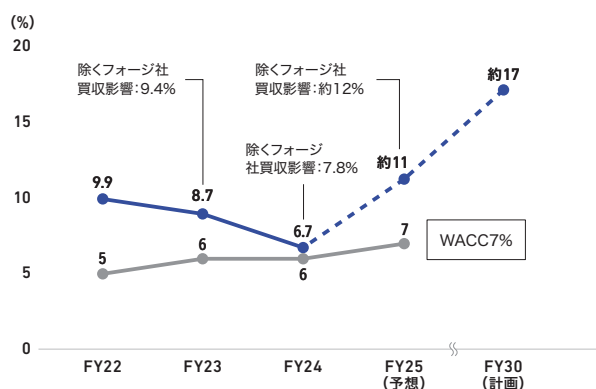
〔ROE〕



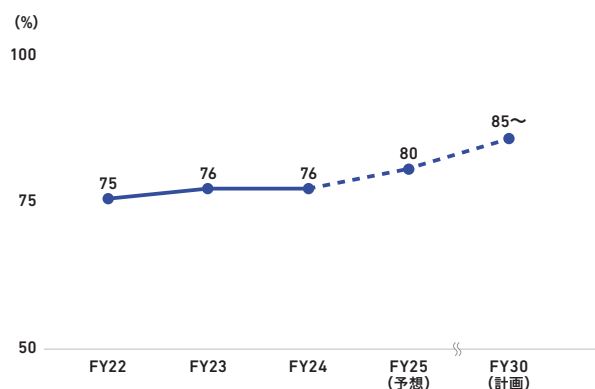
〔EBITDAマージン〕



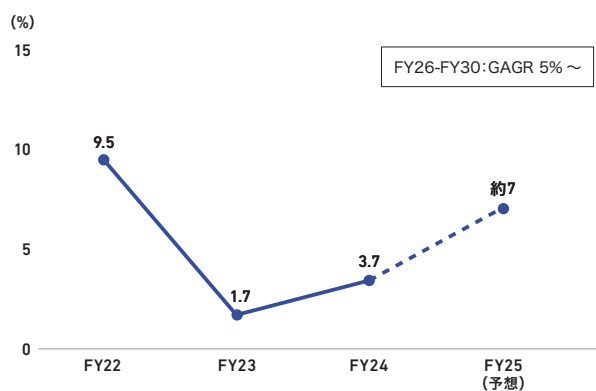
〔ROIC (>資本コスト)〕



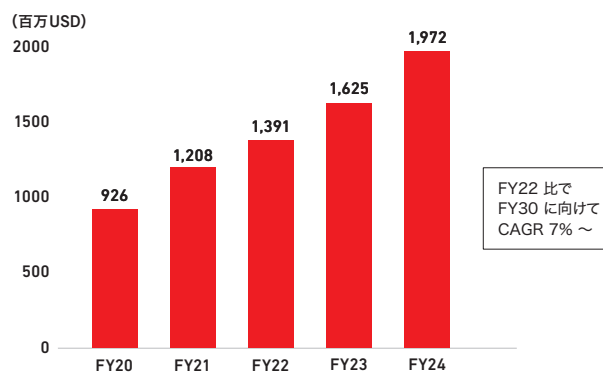
〔従業員エンゲージメントスコア*1〕



〔オーガニック成長率〕



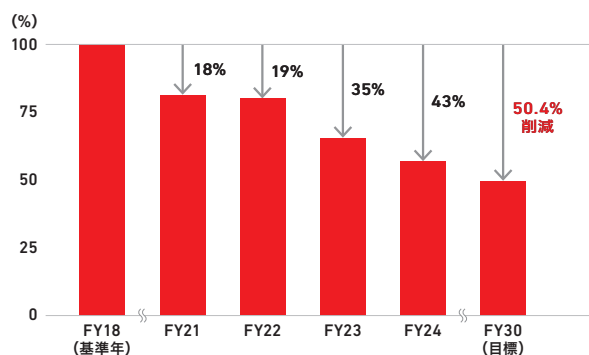
〔コーポレートブランド価値*2〕



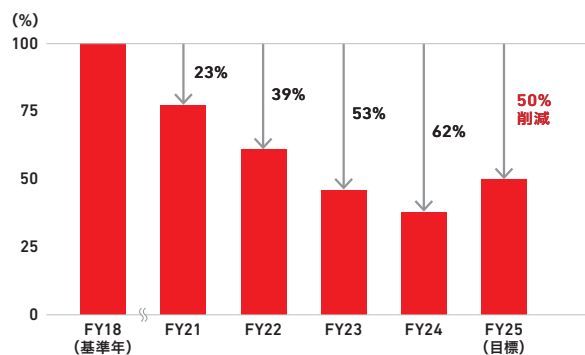
*1 「ASV実現プロセス」の9設問の平均値。

*2 インターブランド社調べ。「Best Japan Brands」公表数値。

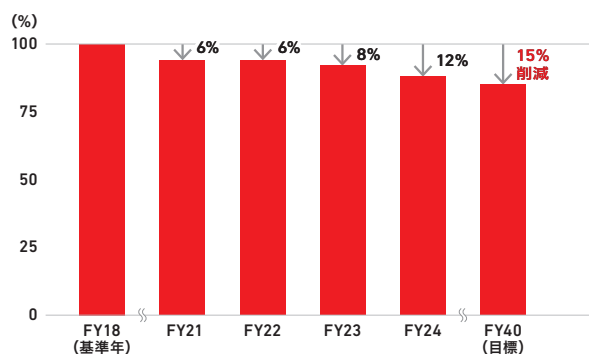
〔温室効果ガス排出量削減率
(対2018年度スコープ1+2総量) *1〕



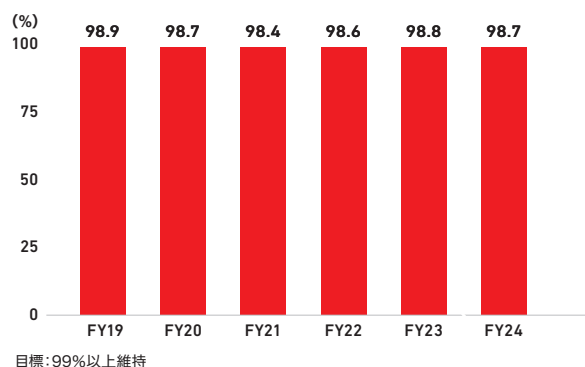
〔フードロス削減率
(発生量対生産量原単位) *4 (対2018年度)〕



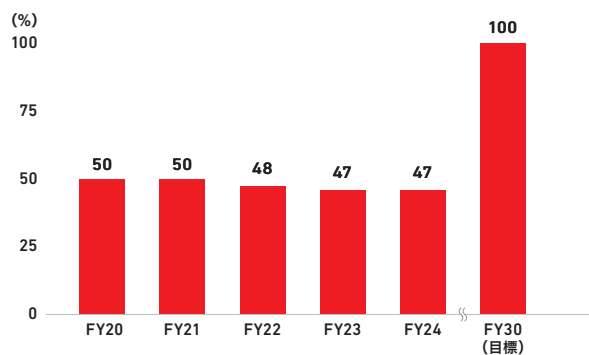
〔水使用量対生産量原単位削減率 (対2018年度) *2〕



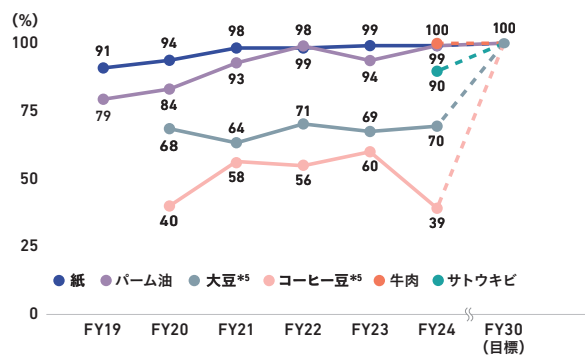
〔廃棄物・副生物の資源化率〕



〔リサイクル可能なプラスチック*3比率〕



〔持続可能な調達比率〕



〔栄養に関する目標・KPI〕

	FY20(実績)	FY21(実績)	FY22(実績)	FY23(実績)	FY24(実績)	FY25(目標)	FY30(目標)
栄養価値を高めた製品*6の割合	40%	50%	56%	57%	57%	—	60%
栄養価値を高めた製品のうち、 「おいしい減塩」「たんばく質摂取」に役立つ製品の提供	年間 2.8億人	年間 3.2億人	年間 3.4億人	年間 3.5億人	年間 3.6億人	—	年間 4億人
アミノ酸の生理機能や栄養機能を活用した製品の利用機会	(基準年)	1.07倍	1.10倍	1.07倍	1.11倍	—	2倍
従業員への栄養教育	延べ460人	延べ2.6万人	延べ5.6万人	延べ8.8万人	延べ12.2万人	延べ10万人	—

*1 SBTi目標に対する実績。ネットゼロ目標認定を受け、2030年度目標を50.4%削減に変更。

*2 前年度までの削減目標はほぼ達成できたため、目標を2040年度までに対2018年度比で15%削減に変更。

*3 技術的にリサイクル可能なプラスチック。2019年に総量調査を実施、2020年以降は国内主要事業部のみ数値を更新。 *4 原材料受け入れからお客様納品まで。

*5 国内事業向け調達分。 *6 国際公衆衛生の観点から重要な栄養成分の摂取の改善・強化に寄与する、当社グループの基準を満たす製品。

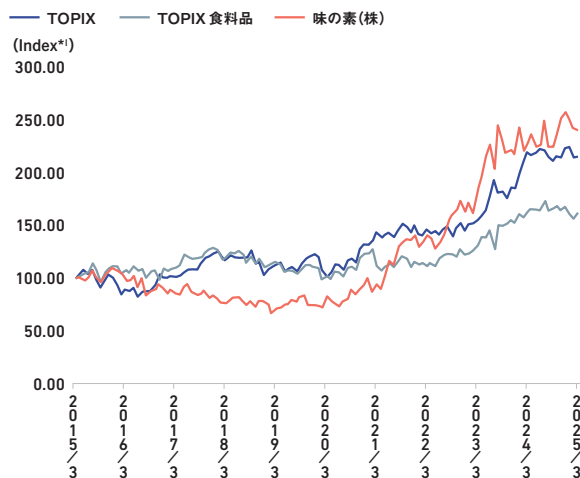
アウトカム	味の素グループが中期的な時間軸で、社会に対して創出する価値。
アグリフードシステム	農畜水産業と食品の生産・流通・消費までを含む一連のシステム。
アミノサイエンス®	アミノ酸のはたらきに徹底的にこだわった研究プロセスや実装化プロセスから得られる多様な素材・機能・技術・サービスの総称。また、それらを社会課題の解決やWell-beingの貢献につなげる、味の素グループ独自の科学的アプローチ。
遺伝子治療	疾患の原因となる異常な遺伝子を修復・補完することで、病気を根本から治療する方法。
ウェルビーイング (Well-being)	健康で幸せな状態。
おいしさ設計技術®	味の素グループの強みである香り・味・食感の解析技術および制御技術を磨き、それらの組み合わせにより圧倒的なおいしさを実現し、健康、持続可能性、スマート調理などの+αの顧客価値を創出する技術。
オーケストレーション	組織や事業の横断的な連携による価値創造。
核酸医薬	生物の遺伝情報を司る、デオキシリボ核酸 (DNA) やリボ核酸 (RNA) の構成成分であるヌクレオチド等を基本骨格とする医薬。核酸医薬品は、低分子医薬品、抗体医薬品に続く第3の医薬品とされ、従来の医薬品では治療が難しかった疾患を根治する可能性がある。
細胞治療	患者自身または他者の細胞を用いて病気を治療する医療技術の総称。
ちゃんと	考え抜かれた決断は意味のある行動につながり、意味のある行動は強力で持続可能な結果につながり、その努力が永続的な効果をもたらすという考え方。

ネガティブインパクト	事業を通じて自社バリューチェーンで発生する負の影響。
ポジティブインパクト	味の素グループが長期的な時間軸で、社会に対して創出するポジティブな影響。
マテリアリティ	味の素グループにとっての重要な事項。
ローリング フォーキャスト	直近の実績や外部環境、事業計画を基に、継続的に将来の業績見通しを更新していく予測手法のこと。短期目標（業績予想）および中長期目標（ASV指標）の達成に向けアクションプランをスピーディかつ的確に立案し実行するために活用される。
ASV	Ajinomoto Group Creating Shared Value。創業以来一貫した、事業を通じて社会価値と経済価値を共創する取り組み。
CAGR	年平均成長率のこと。Compound Annual Growth Rateの略。
CDMO	医薬品開発製造受託機関のこと。Contract Development and Manufacturing Organizationの略。製薬会社向けに医薬品受託製造、開発段階における製造条件の最適化等、製造・開発面における包括的なサービスを提供する事業。医薬品製造受託機関(CMO=Contract Manufacturing Organizationの略)より、製剤化工程など治験薬の開発も担える点で事業範囲が広い。
SKU	在庫管理上での最小の単位。Stock Keeping Unitの略。例えば、同ブランド・同品種でも、「Cook Do [®] 」回鍋肉、「Cook Do [®] 」回鍋肉2人前で2SKUとなる。
WACC	加重平均資本コストのこと。Weighted Average Cost of Capitalの略。企業の稼ぐ力である投下資本利益率（ROIC）が加重平均資本コスト（WACC）を上回っていくことが、企業価値の成長につながる。

五十音順・アルファベット順

社名	味の素株式会社
創業年月日	1909年5月20日
資本金	79,863百万円
従業員数	連結34,860名、単体3,627名
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで (定時株主総会：6月)
本社所在地	〒104-8315 東京都中央区京橋一丁目15番1号 TEL：(03) 5250-8111(代)
発行可能株式総数	1,000,000,000株
発行済株式の総数	502,818,808株
株主数	135,033名(前期末比4,519名増)
上場証券取引所	東京証券取引所(証券コード：2802)
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
会計監査人	有限責任 あずさ監査法人

〔株価パフォーマンス(10年間)〕



*1 2015年3月末日の終値データを100とした配当込みの株価指数の推移。

〔トータル株主リターン(TSR)〕

	1年	3年		5年		10年	
	累計／年率	累計	年率	累計	年率	累計	年率
味の素(株)	106.0%	176.7%	120.9%	310.0%	125.4%	242.4%	109.3%
TOPIX	98.5%	147.2%	113.8%	213.4%	116.4%	217.4%	108.1%
TOPIX食料品	99.3%	145.0%	113.2%	160.1%	109.9%	163.3%	105.0%

〔株式分布状況(所有者別)〕

金融機関	39.6%
個人・その他	17.5%
外国法人・外国人	38.5%
事業会社等(その他の法人)	2.6%
金融商品取引業者	1.8%

〔大株主〕

株主名	持株数(千株)	持株比率 ^{*2} (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	86,308	17.34
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	34,084	6.85
日本生命保険相互会社	25,706	5.17
JP MORGAN CHASE BANK 385632	23,440	4.71
第一生命保険株式会社 ^{*3}	22,924	4.61
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	13,740	2.76
明治安田生命保険相互会社	11,362	2.28
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	9,267	1.86
JP MORGAN CHASE BANK 385781	6,846	1.38
GOVERNMENT OF NORWAY	5,869	1.18

*2 持株比率は、自己株式(5,213千株)を控除して計算しております。

*3 第一生命保険株式会社の持株数には、同社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式800千株は含まれておりません。なお、当該株式に係る議決権は、同社が留保しております。

〔年度ごとの株価推移^{*4}〕

FY	最高値(円)	最安値(円)	年度末(円)	ボラティリティ ^{*5}
2014	1,391.25	721.50	1,317.25	26.2%
2015	1,580.50	1202.00	1,269.75	33.6%
2016	1,351.25	1010.00	1,098.25	28.2%
2017	1,271.75	926.50	962.50	19.2%
2018	1,094.00	812.25	884.50	25.4%
2019	1,044.00	813.00	1,005.25	26.1%
2020	1,263.75	847.00	1,132.75	28.9%
2021	1,828.00	1,067.50	1,734.50	24.9%
2022	2,317.00	1,439.50	2,303.00	25.9%
2023	3,139.50	2,284.00	2,830.00	27.0%
2024	3,295.00	2,443.00	1,479.25	26.3%

*4 2025年3月31日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。表示されている会計期間の期首に当該株式分割が行われたと仮定して過年度の株価を算定しています。*5 数値は標準偏差。

〔 SRIインデックスへの組み入れ 〕

＞ SRIインデックスへの組み入れ <https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/esg/evaluation.html>

- Dow Jones Sustainability World Index
2014年より連続選定
- FTSE4Good Global Index
2004年より連続選定
- MSCI Global SRI Indexes
2011年より連続選定
- MSCI Global ESG Leaders Indexes
2010年より連続選定

〔 主な評価・表彰 〕

＞ 外部からの評価・表彰 <https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/esg/sri/2024.html>

- CDP2024年度
「気候変動Aリスト(最高評価)」
- 2025 EcoVadis(ゴールド)
- 知財・無形資産ガバナンス表彰
(2024年度)
- GPIFの運用機関が選ぶ
「優れた統合報告書」
- IR優良企業賞2024
- 2024年度証券アナリストによるディスクロージャー
優良企業選定食品部門
「ディスクロージャー優良企業」、
「個人投資家向け情報提供部門優良企業」
- 健康経営優良法人2025
(大規模法人部門～ホワイト500～)
- 令和6年度「なでしこ銘柄」
- PRIDE指標2024(ゴールド)
- 「デジタルトランスフォーメーション
銘柄(DX銘柄)2025」
- 「サステナビリティ・
トランスフォーメーション
銘柄(SX銘柄)2025」

〔 関連資料 〕

ASVレポート2025 (発行：2025年8月末)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/sustainability/ir/>



ASVレポート編集部

味の素(株)経営企画部、IR室、(株)マガジンハウス、
(有)nendo、(株)バリュークリエイト

味の素グループ サステナビリティレポート (発行：2025年8月末)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/databook.html>

IR Data Book (発行：2025年6月末)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/guide.html>

Fact Book (発行：2025年7月)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/factbook.html>

有価証券報告書 (発行：2025年6月)

<https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/library/securities.html>

コーポレート・ガバナンスに関する基本方針 (更新：2025年4月)

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/strategy/corp_gov/main/0/teaserItems1/03/linkList/03/link/principle_J.pdf

コーポレート・ガバナンス報告書 (発行：2025年6月)

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/ir/strategy/corp_gov/main/0/teaserItems1/03/linkList/01/link/Governance2022_J.pdf

〔 関連資料体系図 〕

